

令和 8 年度

文学部第 3 年次編入学者選抜学力試験問題

現 代 国 語

注 意

1. 解答は，別冊の解答用紙の所定の解答欄に書くこと。
2. 総ページ数 — 10 ページ
問題ページ — 第 2 ～ 第 10 ページ
(第 1 ページは白紙)
3. 試験終了後，この冊子は持ち帰ること。

I

つぎの文章について後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(三木那由他「会話における闘争」による)

問一 傍線部 A と D のカタカナを漢字に改めよ。

問二 傍線部 1 について、

(a) 「記録」に残る流れ」とはどのようなものか、説明せよ。

(b) 「記録」に残らない流れ」とはどのようなものか、説明せよ。

問三 傍線部 2 について、どのような点において「その責任を回避」しているのか、説明せよ。

問四 傍線部 3 「その犬笛の効果をはつきり言葉にして「記録」に残そうと」するとは、具体的にどのようなことか。オバマ元大統領の名前の事例を使って説明せよ。

問五 傍線部 4 「会話の「記録」のこうした可塑性」とはどのようなことか、説明せよ。

問六 著者の言う、会話における「闘争」とはどのようなことを指すのか、文中の表現を用いて説明せよ。

II

つぎの文章は、明治三十九年の福島県郡山に近い阿武隈川東岸にある南泉田という架空の村を舞台とする小説の一節である。主な登場人物は、権堂これなか惟中（前県議・村長）とその妻きい、長男礼吉（製糸工場南泉社経営）、二男壮介（福原家に養子入り・もと新聞記者・妻お求とは別居中）、娘きく、三男克三（かつぞう籠谷家こもりやに養子入り・東京で牧師）、四男道夫（陸軍学校中退）、保原敬七（克三の従兄弟）など。新任の県知事が初めて県内を視察したとき、惟中・礼吉の父子が、県知事一行を権堂の庄屋屋敷に招いて製糸事業についての陳情を行い、その後、阿武隈川で舟遊びの接待をしている場面である。これを読んで後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(注)

○明智左馬助光春の湖水わたり——戦国時代の武将明智秀満が、琵琶湖の湖上を馬で越えたという伝説。
(村上一郎『東国の人びと』による)

問一 二重傍線部 a「祠」、b「僥倖」、c「幔幕」、d「帳場」、e「陷」、f「弔問」、g「恢復」、h「手控」の漢字の読みを平仮名でそれぞれ記せ。

問二 波線部①「鼻白んだ」、②「口はばつたい」、③「不本意」の意味をそれぞれ記せ。

問三 傍線部1について、克三が「あきらめを抱いていった」のはなぜか、全ての理由をわかりやすく記せ。

問四 傍線部2「久七のわが身をかえりみない勇敢な行為と、きいの母性愛」は、具体的にどのようなことを指すか、それぞれ簡潔に説明せよ。

問五 傍線部3「小さい天地の世論といったものが、残された一族のまわりを包みだす」とはどのようなことを言っているのか、詳しく説明せよ。

問六 傍線部4について、克三が「太い息をついた」のはなぜか、文章全体を踏まえて詳しく説明せよ。